環境省による平成24年度大雪山国立公園関連事業の実施報告

※登山道の維持管理・整備に係る項目については下線を引いている

(上川地区)

| 事業名 | 事業概要 |
|---------------------|--|
| 層雲峡園地整備事業 | 中央プロムナードの舗装改修・付帯トイレ改修を行っ |
| | てきた。現在、園地改修工事中。 |
| | |
| | (経緯) |
| | 平成 21 年度 |
| | プロムナード舗装改修 設計 |
| | 平成 22~23 年度 |
| | プロムナード舗装改修 工事 |
| | 平成 23 年度 |
| | 付帯トイレ等改修 設計 |
| | ビジターセンター前の三角形園地改修設計 |
| | 平成 24 年度(11 月~1月) |
| | ビジターセンター前の三角形園地改修工事 |
| | |
| 標識・看板類、木階段等の修繕 | 層雲峡集団施設地区内にある当省の案内板・標識に写 |
| 事業 | 真ミュージアムの記載を追加し (5月)、層雲峡園地 |
| | の木階段を修繕した(11月)。 |
| | |
| 層雲峡集団施設地区所管施設管 | |
| 理 | 場等当省直轄施設について、上川町の協力のもと管理 |
| | 運営を行っている(通年)。 |
| | |
| | 当省直轄歩道事業について定期的な巡視(6~10月)、 |
| 山道の巡視及び修繕事業 | 通行しづらくなっている区間(六ノ沼〜当麻乗越)に |
| | ついて修繕した (9月)。 |
| 沼ノ平植生保全対策事業 | 登山者の踏圧など人為的影響により荒廃した湿原の |
| 10/ 十個工体主約來爭未 | 恒生復元・モニタリングをした(平成 19 年度から継 |
| | (他生後儿・モーグリンクをした (十成 19 年度から歴 続)。 |
| | <u> </u> |
| 高原温泉ヒグマ情報センター管 | 国指定大雪山鳥獣保護区におけるヒグマをはじめと |
| 理 | する自然情報の収集・整理・管理を行い、併せてセン |
| L | 1 O D WILL WAY TO BE FILL (N C C C) |

| | ターの施設等の維持管理を実施した(6~10月)。 |
|---|--|
| 高原温泉・銀泉台地区利用者指導等(グリーンワーカー事業) | 高原温泉・銀泉台地区のマイカー規制期間にあわせて、ヒグマ等に関する普及啓発活動・利用指導を実施した(9月)。 |
| 上川地区登山道の環境保全等業 務 (グリーンワーカー事業) | 高山植物の盗掘の防止や既存登山道を外れた植生への踏込の防止を行うとともに、登山道における外来植物の分布状況確認・駆除、さらにゴミ・携帯トイレの回収や登山マナーの普及啓発を展開し、併せて登山道等の施設の現況を把握した(6~9月)。 |
| 4 1 1 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 | スノーモビル等乗り入れ規制のための監視(地上及び 上空からの)活動及び普及啓発を行う【東川・上士幌 地区と連携して、2~3月に実施予定】。 |
| 国立公園清掃活動事業 (グリーンワーカー事業) | 自然公園法第 12 条に基づく国立公園内(層雲峡)の 美化清掃を実施した(5月~11月)。 |
| パークボランティア事業 | ①沼ノ平姿見ノ池線の直轄登山道の一部区間(沼ノ平付近等)でロープ張りや笹藪刈り払いをした(7~8月)。 ②高原温泉における自然解説の補助活動をした(9月)。 ③層雲峡園地、愛山渓林道方面、銀泉台方面等におけるオオハンゴンソウ等の外来植物の防除活動をした(7~9月)。 ④スノーモビル乗入れ対策の補助活動等【2月予定】。 |
| その他 (職員実行等) ※平成 20~22 年の 3 カ年で辺 / | ① 平山方面のコマクサ分布及び生態影響調査(外部から持ち込まれた疑惑のあるコマクサについての調査)をした(8月)。 ② <u>雲井ヶ原湿原歩道の標識補修や笹藪刈り払いをした(上川町役場及び層雲峡観光協会と連携して、9月に実施)。</u> 原湿原の木道約1.5kmを更新する予定だった、ヤンベタ |

※平成20~22年の3カ年で沼ノ原湿原の木道約1.5kmを更新する予定だった、ヤンベタップ五色岳線道路(歩道)整備事業については、平成22年夏の集中豪雨により林道が被災、通行ができなくなったことから、工事が中止されているところ。

(東川地区)

| (東川地区) | , |
|----------------|-----------------------------|
| 事業名 | 事業概要 |
| 勇駒別園地木道維持管理業務 | 平成21~23年度にかけて、勇駒別湿原に設置した |
| | 周回木道の刈り払いや美化清掃などの維持管理を実 |
| | 施した。_ |
| | |
| 東川管内登山道維持管理業務 | 沼の平姿見の池線道路(歩道) 4 k m区間の維持管理 |
| | 業務。日常的な点検や補修等、登山道の適正な維持管 |
| | 理に努めた。 |
| 層雲峡勇駒別線歩道整備工事 | 間宮岳から中岳分岐の約650m区間において、路面 |
| | の浸食防止を目的とした土木工事を実施した。近自然 |
| | 工法によるステップ&プール工、空石積工を実施し |
| | <u>t.</u> |
| エコツーリズム支援施設基本設 | 旭岳温泉地区においてエコツーリズム事業を展開す |
| 計業務 | る際の支援施設の基本設計を行う。実施設計のための |
| | 与条件の整理、基本の設計などを行う。 |
| 大雪山東川・美瑛地区スノーモ | 冬期のスノーモビル乗り入れ監視活動を行い、スノー |
| ビル監視等業務(グリーンワー | モビル利用実態及び乗り入れ規制に関しての普及啓 |
| カー事業) | 発活動を行う。東川・美瑛地区として特に幌倉沼と俵 |
| | 真布を中心に活動を行う。 |
| 大雪山富良野地区スノーモビル | 冬期のスノーモビル乗り入れ監視活動を行い、スノー |
| 監視等業務(グリーンワーカー | モビル利用実態及び乗り入れ規制に関しての普及啓 |
| 事業) | 発活動を行う。富良野地区として特にベベルイ原始ヶ |
| | 原と南富良野北落合を中心に活動を行う。 |
| 美瑛地区登山道維持保全活動業 | 大雪山縦走線(歩道)の維持保全活動。三川台以南で |
| 務 (グリーンワーカー事業) | の道迷いを防止するため、約4kmの範囲で登山道に |
| | 覆い被さっているササなどの除去や美化清掃を実施 |
| | <u>した。</u> |
| 東川地区外来植物駆除業務(グ | 旭岳温泉及び姿見の池園地周辺において、本来生息し |
| リーンワーカー事業) | ていないセイヨウタンポポ等の外来植物の除去を行 |
| | った。 |
| 国立公園清掃活動事業(グリー | 自然公園法第 12 条に基づく国立公園内(旭岳温泉及 |
| ンワーカー事業) | び天人峡)の美化清掃を行った。 |
| | |
| パークボランティア事業 | ①表大雪及び十勝岳連峰における登山道整備活動 |
| | ②セイヨウオオマルハナバチなどの外来種の防除活 |
| | 動 |
| | ③スノーモビル乗入れ対策の補助活動等 |
| | |

(上士幌地区)

| 事業名 | 事業概要 |
|--------------------|--|
| 糠平ビジターセンター・町連携 | ぬかびら源泉郷にビジターセンター・町連携施設(仮 |
| 施設建設(新築工事・展示工事・ | 称)を建設する。上士幌町施設と合築で約 1000 ㎡。 |
| 映像ソフト制作) | H25 年度春オープン予定。 |
| | |
| 十勝三股植生復元業務 | 十勝三股環境省所管地内について、集落跡・土場跡等 |
| | の植生復元を行うとともに、旧国鉄(三股駅)跡、集 |
| | 落形成等の歴史の情報発信を行った。 |
| | |
| トムラウシ山新道(迂回路)補 | トムラウシ山登山道の新道(迂回路)の泥濘の補修を |
| <u>修</u> | 実施した。 |
| | |
| トムラウシ山登山道管理委託業 | トムラウシ温泉登山口~南沼までの登山道の巡視及 |
| <u>務</u> | び軽微な補修等の維持管理を実施した。 |
| | |
| 石狩連峰縦走線登山道整備 | 石狩岳〜沼ノ原の区間について、ササ刈り払い等を実 |
| (グリーンワーカー事業) | 施した。_ |
| | |
| 然別湖ウチダザリガニ防除 | 然別湖生物多様性保全協議会(仮称:H24 設置予定) |
| (生物多様性保全推進支援事 | にて然別湖のウチダザリガニ防除及び普及啓発活動 |
| 業:交付金) | 等を実施した。 |
| | |
| セイヨウオオマルハナバチ対策 | 士幌高原にてセイヨウオオマルハナバチの効果的な |
| 業務 | 防除方法の検討を行った。 |
| | |
| | 東大雪地域(新得町を中心とする)の冬期のスノーモ |
| 業務(グリーンワーカー事業) | ビル乗り入れ監視活動を行い、スノーモビル利用実態 |
| | 及び乗り入れ規制に関しての普及啓発活動を行う。 |
| | - hh / Fl/4 / htt - 10 / h / h / h / h / h / h / h / h / h / |
| 国立公園清掃活動事業(グリー | |
| ンワーカー事業) | 泉郷周辺)の美化清掃を行った。 |
| 。 カギニンニ・マ東米 | () 古上寺地域の登山光動性活動 |
| <u>パークボランティア事業</u> | ①東大雪地域の登山道整備活動 ②セイヨウオオマルハナバチ及びウチダザリガニな |
| | |
| | どの外来種の防除活動 |
| | ③スノーモビル乗入れ対策の補助活動等 |
| | |

※複数機関で協力して登山道管理を実施した事例の紹介(上川地区)

雲井ヶ原登山道は道から上川町が借りて通している。しかし、当該登山道の関係機関である町も道も予算・人員が限られている。前回手入れから既に相当年数が経過し、ササ藪の繁茂、木道の傷み及び標識の剥げが進行しており、今年8月には一般利用者のブログで下記のような批判的感想(「大変でした」「楽しくなかった」)が写真を含め掲載された。

当該登山道は、愛山渓から容易にアクセスでき紅葉や湿原、山岳景観を楽しめる貴重なコースでもあり、今年度の紅葉期までに通行し辛い状況を解消するべきと考えられた。この旨を上川自然保護官事務所より町役場に伝え、本年9月に保護官事務所、上川町及び層雲峡観光協会が協力して、雲井ヶ原湿原登山道の手入れ(笹藪刈り払い、標識補修)を合同(各団体2名ずつ、計6名)で実施した。

登山道管理者の予算・人員の慢性的不足や、管理者の不在登山道については、今後このような関係機関同士での助け合い・連携での地道な手入れが重要になってくると思われる。



雲井ヶ原登山道に係る一般利用者のブログ(http://boidenana.exblog.jp/17836144/)

雲井ヶ

たかが40分の距離でも山道。 ほとんど運動していない私にとっては上りがちょっときつかったかな。 色々と障害物もあったし・・・笑 それでもやっぱり目的地に着くとなんともいえない気持ちになります。 もっと体力付けて色んなところに行けるように準備しておかないとね!







雲井ヶ原湿原の協働型管理の作業中写真

144/)